

道徳教育の充実を求めて
～道徳の総合単元的な学習～

馬場 彪伍 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 谷川 尚己

キーワード：総合単元的道徳教育，年間計画，道徳教育

1. 緒言

学習指導要領³⁾では、道徳の時間が道徳教育の要であるということを明記している。各教科の特質に即した道徳教育は、各教科の目標や内容の学習が主である。それに合わせて関連する道徳性の育成を図る。道徳の時間は、基本的な道徳的価値の学習を目的として、道徳的価値の自覚を深める授業を行う。したがって、各教科での道徳教育が行われていないと、価値の押し付け的な授業になりがちである。そのため教育活動全体を通し、充実した道徳教育を行えるように年間を通しての計画を立てる必要がある。

2. 研究方法

草津市内の13の小学校の年間計画例をもとに現場で行われている方法を調査し、総合単元的な道徳教育の構想を作成する。

3. 結果と考察

実際にY校では、総合単元的な道徳教育は取り入れられており、道徳の時間で学んだことを「リアル」な体験を通し身に付けさせていた。さらに教育活動全体をリンクさせ、思いやりの心を育てるために「つながり」を大切に取り組みが行われていた。道徳の時間の充実をはじめとして、子ども達の身近なところに心育ての場を全校的な取り組みとして、年間を通し日常的に進めており、そうすることにより子ども達が自ら心育てに関わろうとし、道徳の授業で考えたことをより普通の生活に近い「リアル」な場面で実践していた。草津市の他の12の小学校の年間計画においても、やはり総

合単元的な道徳教育は実践されていた。光村図書館の年間計画においても、総合単元的な道徳教育が必要であるとしている。そこで、Y校と光村図書館の年間計画を参考に5年生の道徳教育の指導計画を作成した。

4. まとめ

本研究において、滋賀県草津市内の13の小学校の道徳教育の実態と光村図書館の年間計画をもとに、総合単元的な道徳教育の構想を作成した。調査結果から、総合単元的な道徳教育が子どもたちの道徳性を育成するために有効であり、道徳教育推進校を中心に現場で実践されていたことが分かった。また、総合単元的な道徳教育の構想を作成し、実践する時には各教科の目標やめあてがばやけないように、指導していく必要がある。

このように道徳授業での目標と、各教科、特別活動などの道徳的なねらいと関連付けて、総合単元的な道徳教育の構想を作成し、教育的愛情をもって授業を行なうことが道徳教育を行なう上で重要だということが分かった。

引用・参考文献

押谷由夫，内藤俊史（2012）道徳教育への誘い ミネルヴァ書房

文部科学省 小学校学習指導要領解説（2008）

小柳正司（2013）道徳教育の基礎と応用 生き生きと学ぶ道徳の教育 あいり出版